

# 3

## 発達段階に応じた性教育の指導計画例

### (1) 幼稚園における指導計画例

・指導事項は、題材は「...」で示している。  
 ・授業で取り組むのに望ましいと思われる時期、題材の  
 目標・内容、他教科や領域との関連も示している。

#### 幼稚園 年少(4歳児)

	自分自身に関すること		男女の人間関係	家庭や社会との関連
	体の発育・発達	心理的な発達		
年少	○大切な体 「といれのつかいかた」 「からだのなまえ」 「あんなのこのからだ、 おとこのこのからだ」 「たいせつなからだ」	○自分の成長 「おおきくなった！」	※保育の中で、繰り返 し指導するとともに、 他の題材と関連付ける。	○性被害の防止 「うれしいふれあい、 いやなふれあい」

#### 題材・目標・内容

月	題材	目標	内容
4	といれのつかいかた (15分)	・トイレの使い方やエチケット、正 しい拭き方、手洗いの大切さがあ ることを知る。	・トイレの使い方・エチケット ・正しい拭き方 ・手洗いの大切さ
6	からだのなまえ (15分)	・体の各部位に名称があることを知 り、体に興味をもつ。	・体の各部位の名称 ※健康診断の機会や手遊びなどを 通して、日常的に知らせる。
7	あんなのこのからだ、お とこのこのからだ (15分)	・男女の体の違いに気付き、自分の 性別を認識する。	・男女の体の違い ※身体計測、更衣などの機会をと らえ、気付かせる。
9	たいせつなからだ (20分) *実践例P46を参照	・体を清潔にしたり、傷つけ合っ たりしないことが大切であることに 気付く。	・体の素晴らしさ ・体の清潔を保持する習慣と方法
11	うれしいふれあい、いや なふれあい (20分)	・相手が嫌がる接し方を考えると ともに、自分が被害に遭いそうにな ったときの対処法を知る。	・自分と他者の気持ちの違い ・人との接し方 ・自分の身を守るための方法 ※日常的なトラブルの場面におい ても繰り返し指導し、気付かせ る。
2	おおきくなった！ (15分)	・自分の体の成長を知り、喜びを感 じる。	・自分の体の成長 ※身体計測、誕生会などの機会を とらえ、自分の成長に気付かせ る。

#### Q1 性器を示す場合、どのような呼び方をしたらよいのでしょうか？



A 幼稚園から小学校3年生までは性器の名前を教える必要はありませんが、指導の過程で必要がある場合は、幼児語など子供たちが通常生活の中で使用していることばを使うことが考えられます。  
 小学校4年生以上では、男子は「陰茎」、女子は「膣」という表現を使いますが、すべての校種でペニスやワグナという表現は使いません。



## 幼稚園 年長(5歳児)

	自分自身に関すること		男女の人間関係	家庭や社会との関連
	体の発育・発達	心理的な発達		
年長	○大切な体 「からだってすごい!」	○自分の成長 「わたしもあなたもおおきくなったね!」 「じぶんのたんじょうのよろこび」	○仲良く助け合う 「みんなすてきななかま」 ※保育の中で、繰り返し指導するとともに、他の題材と関連付ける。	○性被害の防止 「いやなふれあい、こんなときどうするの?」 ○家族の助け合い 「かぞくとわたし」

### 題材・目標・内容

月	題材	目標	内容
4	わたしもあなたもおおきくなったね! (15分)	・自分の体の成長を感じ、喜んだり、自信をもったりするとともに、友達の成長にも気づき、成長を喜び合う。	・自分や友達の体の成長 ※身体計測、誕生会などの機会を通して、成長への実感をもたせる。
6	からだってすごい! (20分)	・体の各部位には、名称と大切な働きがあることを知り、自分の体の仕組みに興味・関心をもつ。	・体の各部位の名称と働き ※健康診断の機会や手遊びなどを通して、日常的に知らせる。
9	みんなすてきななかま (20分)	・性別にかかわらず、みんなそれぞれ大切な存在であることを感じる。	・一人一人の持ち味、良さ ※固定的な性役割の意識をもって、指導に当たらないようにする。
11	いやなふれあい、こんなときどうするの? (20分)	・不快な触れ合い方について考え、性的暴力から身を守る具体的な方法を知る。	・不快な触れ合い方 ・自分を守るための具体的な方法 ※日常的なトラブルの場面においても繰り返し指導し、気付かせる。
2	かぞくとわたし (20分)	・家族が助け合って生活していることに気づき、家族の一員としての意識をもち、できることを考える。	・家族の役割分担 ・家族の一員としての自分の役割
3	じぶんのたんじょうのよろこび (20分) *実践例P50を参照	・自分たちの命が大切にはぐくまれてきたことを実感し、命の尊さを知る。	・自分や他者の命のかけがえのなさ ・出産を迎える母親や周りの人々の心情

### 留意点

- \* 3歳児保育を行っている幼稚園においては、幼児の実態に応じて、本計画例の年少の内容を組み入れるようにする。
- \* 命の大切さや、命の連続性については、飼育・栽培の活動を通して、気付かせていくようにする。
- \* 「男女の人間関係」は、生活場面における繰り返しの指導が中心となることから、主に日常的な保育を通して、仲良く遊ぶには、約束が必要なことや、時に我慢したり助け合ったりすることが必要であることに気付かせていくようにする。
- \* 幼児期は発達が著しく、個人差が大きいため、幼児の実態に応じて、指導時期や内容を考慮していく必要がある。また、幼児の特性から、幼児の実態に応じて、適時に指導を行っていくことや、繰り返しの指導をしていくことが効果的である。年間を通して伝えていくための機会のとらえ方については、内容の部分に※示した。
- \* 日常においても、幼児の性に関する疑問に向き合い、性や命に関するコミュニケーションが図られるよう、保護者への働きかけを十分に行い、進める。
- \* 有害情報からの保護は、教師、保護者、地域の連携により行う。